

EA989RD-53 ハンドウインチ[自動ブレーキ/高耐久型] 取扱説明書

弊社取扱い製品をご購入頂きありがとうございます。ご使用前に取扱説明書をよくお読み頂き、内容を理解した上で正しく安全にご使用ください。取扱説明書はいつでも閲覧できる場所へ保管してください。ウインチは強力な装置です。危険な使い方・誤った使い方をすると、物的損害および身体傷害を引き起こすおそれがあります。本取扱説明書に記載されている警告、注意書きは起こりうる全ての条件や状況をカバーすることはできません。過信せず、作業者自身が常に注意を払い、作業を行うことが重要であることを作業者自身が認識する必要があります。

■安全上の注意 誤った取扱いをした場合に生じる危害や損害の程度を下記に区分をしています。

⚠ 警告	誤った取扱いをした場合、死亡や重傷を負うおそれがあります。
🚫 禁止	してはいけない内容です。
❗ 注意	実行する必要がある内容です。

⚠ 警告	🚫 禁止	<ul style="list-style-type: none"> 当製品は荷の横引き、吊上げを目的とております。用途外の使用はしないでください。 能力を超えての使用はしない。 人を持ち上げたり、支えたり、輸送する用途、並びに人の上空での使用はしない。 ワイヤロープを完全に伸ばした状態にしない。(ドラムに最低3巻き以上残して使用する) 改造はしない。破損やケガの原因になります。
	❗ 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> 自動ブレーキの作動には、最低136kg以上の負荷が必要です。負荷が軽い場合、ブレーキが効かなくなり大変危険です。 使用前に、ウインチに損傷がないかを確認すること。損傷がある場合は使用を中止すること。 使用前に、ワイヤロープを点検し、下記異常がある場合は使用をしないこと。 キンク、素線の切断、形くずれ、腐食 動力を使用せず、手動で操作すること。 手動で動かない場合は、過負荷になっている場合があります。 ウインチは使用時は大きな力が加わります、十分に注意をして使用すること。 ウインチ操作後、負荷をかけた状態で長時間放置せず、荷を別途固定をすること。 子どもやウインチ操作に不慣れな人は使用をしないこと。 長い髪は束ねる、だぶついた服は着用しない、装身具は外すなど、ウインチに巻き込まれない様にする。



■仕様

- 横引き、吊上げ用
- 自動ブレーキ式
- 高頻度、長期間の使用に耐えるブレーキ機構密閉仕様
- 内歯車
- 垂鉛めっき+粉体塗装
- サイズ(外寸) 289.8x346.1x176.3(H)mm

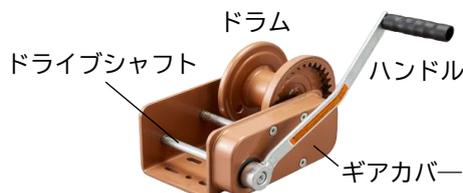


品番	能力 (kg)※	ギア比	ブレーキ作動 最小必要負荷	最大巻取長さ		ドラムサイズ		ハンドル 長	重量 (kg)
				ワイヤロープ	ストラップ	径	幅		
EA989RD-53	1,135	12:1	136kg	7.9mm x13.7m	-	63.5 mm	65 mm	311.2mm	10.3

⚠ 警告	<p>※ドラムの1層目が基準層となります。層数が増えると、ウインチの負荷は増加し能力は落ちます。 例：705kg(3層目)</p>		<p>ワイヤロープ ドラム径 ドラムのつば</p>	<p>ドラム幅 基準層</p>

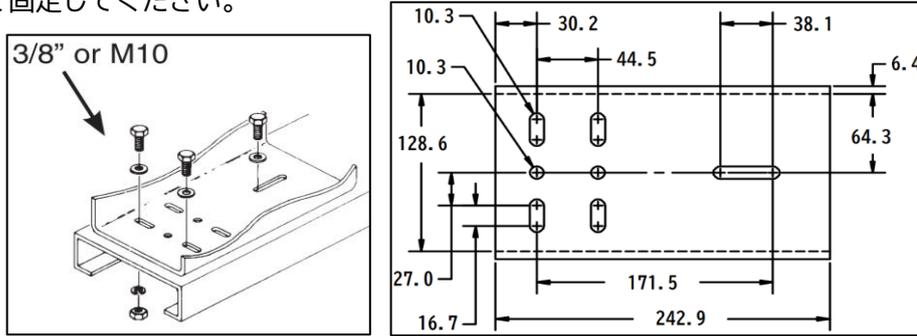
■組立方法

ハンドルの取付: ドライブシャフトにハンドルを取付け、時計回りに回します。カチッというギア同士があたる音があるのを確認後、下図の順にて固定します。



■設置方法

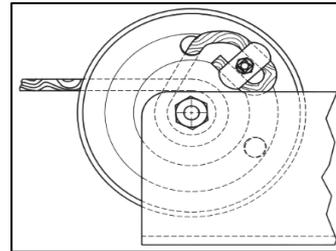
- 十分に強度のある場所に3/8"またはM10サイズのボルト、ワッシャー、スプリングワッシャー、ナットを使用して固定してください。



単位：mm

■ワイヤロープの取付方法

- 右図の様に取付けます。
- ワイヤロープの末端は付属の止め金で固定します。



巻き方(参考動画)



- ワイヤロープは乱巻きにならないように端から整列して巻いてください。
- 使用時に全てのワイヤロープを送り出さず、ドラムに最低3巻きを残すこと。
- ワイヤロープはドラムから真っすぐ引いて使用してください。

■使用方法

- 巻上げ** : ドラムに戻す操作。ハンドルを時計回りに回すとカチカチッと音がして巻上げます。
- 巻下げ** : ドラムから送り出す操作。ハンドルを反時計回りに回すと巻下げます。(カチカチ音は鳴りません)
- ブレーキ** : ハンドルの操作を止めると、その状態で負荷を保持します。
(ハンドル操作を止めた後、ハンドルを時計回りにカチカチッと2回音がするまで回すと、より強くブレーキがかかります。)



- ブレーキの作動には136kg以上の負荷が必要です。**
負荷が軽い状態で、ハンドルを反時計回りに回すと、ブレーキディスクが緩み、ブレーキが効かなくなります。その場合は、ハンドルを時計回りに回すと再びブレーキがかかります。

■メンテナンス

常に良好な作動状態に保ってください。破損した部品やひどく摩耗した部品は不必要な危険を引き起こし、人身事故や物的損害を引き起こす可能性があります。定期的なメンテナンスが必要です。以下の点検は、汚れや濡れる環境にある場合には、少なくとも1年に1回、より頻繁に行う必要があります。

- ウインチを負荷のない状態にし、ハンドル(M)とギアカバー(K)を外します。
- 内部のギア、ブレーキ機構に錆、腐食、堆積物がないかを確認します。
- 各ギアに異常な摩耗がないかを点検し、正常に回転することを確認します。各ギア歯、ドラムシャフト(D)にグリースを塗布してください。
- ラチェットホイール(CC)、ブレーキディスク(BB)、ハンドル(M)のブレーキディスク接触面、ドライブシャフト(J)のブレーキディスク接触面に汚れ、摩耗がないかを確認します。この面にはグリースは塗布しないでください。
- ラチェット爪(U)のテンションがかかった状態で、ブレーキディスク(BB)、ラチェットホイール(CC)を元に戻します。時計回りにハンドルを回すと、カチカチと音をたてて回転することを確認してください。反時計方向に回ると、ラチェットホイール(CC)は静止したままになります。ギアカバー、ハンドルを元に戻します。
- ワイヤロープは、ねじれや破損がないかを確認してください。防錆剤を塗布すると長持ちします。

